

高規格救急自動車購入仕様書

令和7年度

周南市消防本部

第1章 総則

1 目的

本仕様書は、令和7年度周南市消防本部(以下「本部」という。)が整備する救急自動車(以下「車両」という。)と車両に備える高度救命処置用資器材等(以下「資器材等」という。)について必要な事項を定める。

2 適合法令等

(1) 車両は、本仕様書によるもののほか、道路運送車両法、道路運送車両の保安基準及び救急業務実施基準に定める要件に適合するものであって、緊急自動車としての承認が得られるものとする。

また、明記されていない部分については、メーカー公表の標準仕様(オプションも含む。)とする。

(2) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年8月10日法律第145号)第39条第1項の規定(旧薬事法)に基づく高度管理医療機器等の販売業の許可を受けていること。

3 車両の条件

車両は、救急業務が迅速に行えるもので、本仕様書に適合して製作されるとともに、次の条件を満たすこと。

(1) 長期の使用に十分耐え得るものであり、かつ、維持管理が経済的に行えるものであること。

(2) 使用取扱い上の安全性、操作性を十分考慮したものであること。

(3) 清掃、点検及び修理が容易に行えるものであること。

4 製作及び設計図等

受注者は、契約後、本部と製作上の細部について、十分打合せを実施した後、次の図書を2部提出し、承認を得ること。

(1) 製作工程表

(2) 諸元明細書

(3) シャーシー図面

(4) 艀装5面図(資器材庫等の配置図及び取扱図)

(5) 室内配置図

- (6) 配管系統図（酸素）
- (7) 電気配線図（車両関係、艀装関係）
- (8) 救急無線装置配線図
- (9) ヒューズ・電球の数量及び容量一覧図
- (10) その他本部が指示するもの

5 検査

納入車両の中間検査及び完成検査は、必要に応じて行うものとする。

6 仕様の変更

製作図承認後、やむを得ない事情により、仕様の変更及び異常が生じた場合は、速やかに本部と協議の上、承認を受けること。

7 検収及び図書の提出

車両納入時、本部の指定した場所において、車両及び資器材等の検収を行うものとし、受注者は次の図書を各1部提出すること。

- (1) 車両取扱説明書
- (2) 資器材等取扱説明書
(海外の製品については、適切に和訳された説明書を添付すること。)
- (3) 改造自動車等検査結果通知書（写し）
- (4) その他本部が指示するもの

8 技術指導

受注者は、車両及び資器材等について、取扱いにかかる説明を行うこと。

9 登録の代行等

- (1) 受注者は、登録にかかる手続全てを代行するものとする。
- (2) 自動車損害賠償責任保険、自動車重量税及びリサイクル料金については、周南市が別に負担する。

10 疑義等の解釈

契約の履行にあたり疑義が生じたときは、本部と協議の上、解釈すること。

11 保証

- (1) 車両及び資器材等は、納入後1年間とする。ただし、メーカー等の公表する保証期間がこれを越える場合は、メーカー等の保証期間とする。

- (2) 製作上の欠陥による故障、損傷については、保証期間後といえども無償修理し、使用期間中にわたり保証すること。

12 納入数量

- (1) 高規格救急自動車 1台
(2) 高度救命処置用資器材等 1式

13 納入場所

周南市新宿通五丁目1番3号 周南市消防本部

14 使用の本拠の位置

周南市大字鹿野上2822番の4 周南市北消防署

15 納期

令和8年2月20日(金)までとする。

第2章 仕様

1 車両の諸元

(1) 車両は、メーカーが公表している標準的な装備（オプションも含む。）を備えた高規格救急自動車で、救急業務実施基準第10条に適合する車両であること。

ア 車体の形状 ワンボックス型

イ 乗車定員 7名以上

(2) 車両の主要諸元は次のとおりとする。

ア エンジン ガソリンエンジン

イ 変速装置 オートマチック

ウ 排気量 2400cc 以上

エ 出力 140ps (103kw) 以上

オ 駆動方式 四輪駆動(4WD)

カ 車両寸法 全長 5500mm 程度

 全幅 1900mm 程度

 全高 2500mm 程度

キ 傷病者室内寸法 資器材等を積載し、これを用いた救急業務に支障のない大きさ及び広さとする。

2 艤装留意事項

(1) 艤装は、長期の使用に十分耐えるものであり、取扱い上の安全性及び操作性を十分に配慮しており、維持管理が容易で、経済的であること。

(2) 車体の構造は、振動、衝撃等を十分緩衝できるボディとし、あらゆる走行条件に対して安全かつ安定していること。

(3) 資器材の取り付けは、走行中の振動等に対して十分な防護緩衝措置がなされていること。

(4) 防音・防水性に十分配慮すること。

(5) 無線障害を防止するために、車体の必要な箇所にアースを取り付けること。

(6) 隊員が運転席から傷病者室に往来できること。

(7) 十分な冷暖房機能を有すること。

3 緊急走行装備品関係

(1) フロントルーフに高輝度LED点滅警光灯左右内蔵型又は同等品を車両前部ルーフに取り付け、リヤサイドに高輝度LED点滅警光灯左右内蔵型又は同等品を取り付けること。フロントバンパー上部左右に高輝度LED点滅警光灯又は同等品（点滅リレーキット含む。）を取り付けること。また、バックドア（開放時）底面部に停止表示灯（幅広タイプ）を取り付けること。

なお、警光灯及び点滅灯の作動状況については、運転席で確認できるようにパイロットランプ表示をすること。

(2) ヘッドライトはLED等高輝度のものとし、フロントバンパー付近にフォグランプ2灯を取り付けること。

なお、ヘッドライト一体型の場合はこの限りではない。

(3) フロントルーフ及びリヤサイドに取り付ける高輝度LED点滅警光灯左右内蔵型又は同等品については、状況に応じて照度を変更できるものであること。

(4) ハイマウントストップランプを車両後部に取り付けること。

(5) 車両の適切な位置に電子サイレン兼スピーカーを取り付け、操作部は運転室の操作容易な場所に設けること。

(6) 電子サイレンアンプは、音声合成装置付（メッセージ）とし運転席、助手席にそれぞれ、切り替えスイッチを設けること。

(7) マイクは、助手席の便利な位置にハンドマイクを、運転席上部にはフレキシブルマイク（スイッチ付）を設けること。

(8) サイレン音助手席足踏みスイッチを設けること。

4 安全装置

(1) 運転席、助手席にSRSエアバッグ装置を設けること。

(2) ブレーキ装置は、ABS機能付きとすること。

(3) 運転室から各ドアを集中ロックできること。

(4) 運転席より各ドアの開閉状況が確認できるモニターを設けること。

(5) 車両は、リモコンキー3個、通常型2個の計5個とし、各ドアをワンタッチでロックできること。

(6) 車両周囲監視モニターを設けること。

(7) 自動ブレーキを設けること。

5 車両装備品関係

- (1) 車両周囲を有効に照射するための作業灯（L E D）を、車両の左右側面上部に各2個（計4個）取り付けること（左右別系統とし、作業灯の点灯が確認できるパイロットランプ付きスイッチを設けること。）。
- (2) サイドフラッシャーランプを車体の両側に取り付けること。
- (3) 路肩灯を車両後部タイヤハウス付近に取り付け、点灯は前照灯スイッチと連動していること（連動解除スイッチ付）。
- (4) バッテリーは十分な容量があり、容易に点検整備が行えること。
- (5) 防水対策を施したマグネット式入力用コンセントを車体後部に取り付け、外部電源（A C 100V）から車両用のバッテリーが充電できるとともに、車内コンセント全てに配電すること。外部電源コンセントにはワンタッチ開閉保護カバーを取り付けること。車載バッテリーの充電装置（過充電防止付）を内蔵すること。
また、イグニッションをO F Fの状態、外部入力により資器材等の充電及び傷病者室の照明が使用可能であること。

※A C 用の接続コード（長さ10m・プラグ付）を付属すること。

(6) 冷暖房装置等

- ア 冷暖房装置は運転室及び傷病者室を同時に冷暖房でき、操作部は運転室及び傷病者室の双方に設けること。
- イ 傷病者室には、電動換気装置を設けること。
なお、操作部は傷病者室に設けること。

(7) 照明装置

- ア 傷病者室を有効に照明する照度調節機能付大型L E D灯を取り付け、傷病者室内の業務の遂行に支障とならない操作しやすい位置にスイッチを設けること。
- イ 傷病者観察用の天井埋め込み式のスポットライトを取り付け、操作しやすい位置にスイッチを設けること。
- ウ 各乗降口のドア開放連動照明灯を取り付け、ドア付近にこのスイッチを別に取り付けること。

(8) 座席

ア 運転室の座席数は2座とし、運転席及び助手席には、3点式シートベルトを設けること。

イ 傷病者室の座席は、ストレッチャー頭部側に後ろ向き1座、左側に前向き1座及び横向き2座以上とすること。

なお、左側の座席はサブベッドと使用することができる構造とし、横向きの座席については背当て付き跳ね上げ式（台座は収納室）とすること。

ウ 座席は全て厚手のビニール張り（糸入り）とすること。

(9) ドア等

ア スライドドア及びリヤドアは、ドア閉鎖補助装置付とすること。

イ リヤドアは、跳ね上げ式とし、メインストレッチャーの出し入れに十分な幅・高さを有すること。

ウ 乗降用の手すりは、昇降の補助がし易い長タイプを取り付けること。

(10) 窓等

ア 傷病者室の窓ガラスは約2分の1以上をガラス曇りフィルム処理又はこれと同等な目隠し処理をするとともに、透明部分にはスモークフィルムを貼り熱線吸収タイプとすること（プライバシーガラスの場合は、約2分の1以上を曇りフィルム等で目隠し処理すること。）。
その他、目隠し処理の詳細については本部と協議すること。

イ 運転席、助手席の窓ガラスは、パワーウインドウとすること。

ウ 傷病者室内の各窓には、傷病者室内を車外から目隠しするためのカーテンを取付けること。

(11) 電流計及び電圧計を運転席付近に設けること。

(12) 傷病者室内にインバーター（正弦波 300W以上）を設置し、AC100Vコンセントを資器材設置場所付近に設け、別に予備コンセントをメインストレッチャーの前後にそれぞれ設けること。

(13) ホワイトボード

傷病者室の前側にホワイトボード（水性ペン黒・赤・青各1本、字消し、マグネットクリップ2個、A4サイズマグネットバー2本を含む。）を取り付けること。

(14) 網棚等

- ア 傷病者室の天井の2箇所にネットを設けること。
 - イ 運転席及び助手席後方パーテーションボードに、バネ付きフック3個を取り付けること。
 - ウ 秒針付きアナログ時計を傷病者室内に取り付けること。
- (15) 安全確認用ミラー
- ア 運転席から前下方が確認できる安全確認用アンダーミラー又は同等用途ミラーを取り付けること。
 - イ デジタルインナーミラーを取り付けること。
 - ウ 助手席にインナーミラーを取り付けること。
 - エ 助手席から後方が確認できる助手席アウトサイドミラーを取り付けること。
- (16) 乗降口スリップ防止、傷付防止及び追突事故防止
- ア 乗降口にアルミ縞板を取り付けスリップ防止材貼付及び傷付防止策をすること。
 - イ 後部ステップに反射材を取り付けること。
 - ウ リアバンパー部にアルミ製のリアバンパープロテクターを取り付けること。
- (17) 助手席にフレキシブルマップランプを取り付けること。
- (18) その他
- ア 熱に弱い電装品は、エンジン等の発熱部から距離をとって取り付け、防熱対策をすること。また配線は、容量十分なケーブルを使用し、天井及び側板内に敷設すること。
 - イ 特装電源回路のヒューズ等を一括して設け、ヒューズボックス内にはそれぞれの表示をすること。
 - ウ 車両動態表示システム（以下「AVM機器」という。）の取り付けベースを設け、別に本部が支給するAVM機器を取り付けること。

6 救急装備品関係

(1) 収納庫

- ア 構造は強固で、かつ、走行中の振動による異音の発生がないようにすること。
- イ 各扉、引き出し及び収納棚には、走行中の振動や内容物の移動により開放又は突出しないように、固定装置を必要に応じて設けること。固定装置は機能が

確実に、かつ、固定及び解除が容易にできること。

ウ 内面には、固定装置及び緩衝材を取り付け、資器材の破損防止ができる構造とすること。

エ 収納庫はメーカー標準及びメーカーオプションにより、積載資器材を十分収納できる容量を確保するとともに、救急隊員の行う作業動線を考慮した配置とすること。

オ 傷病者室の左右上部それぞれ2か所（計4か所）に、収納庫を取り付けること。

カ 右側面のストレッチャー足側付近に施錠機能を有する収納庫を取り付けること。

キ 運転席後方に縦型収納庫を取り付け、扉の外側には、グローブボックス（3個）、扉の内側には、ネットシェルフ（2段）を設けること。

ク 縦型収納庫の扉は傷病者室と運転室とを間仕切ることができる隔壁扉として兼用できるものとする。

ケ 助手席後方に、自動心肺蘇生器用の収納庫を取り付けること。

コ 収納庫は原則、扉を有する構造とすること。

サ 全ての引出しは、メインストレッチャーを定位に配置した状態で開閉可能であること。

シ 傷病者室の携帯型吸引器付近に収納庫を取り付けること。

ス その他、収納庫の種類、数量、配置等について設計段階において本部と協議すること。

セ 人工呼吸器付近に、患者回路（蛇管）等が収納できる収納庫を設けること。

(2) 酸素吸入装置

ア 酸素ボンベ（100型）は、傷病者室内専用の収納庫に常時2本以上積載でき、ボンベの取替えが容易にできること。

イ 酸素の配管は、十分な耐圧力及び耐腐食性を有するとともに、走行中の振動及び衝撃に十分耐える強度の材質とすること。

ウ 酸素供給接続口（加湿流量計OXY PAC III S）には人工呼吸器等の他の器材を接続できるカップラー（ジュンロン2口及び川重1口）を取り付け、接続及び

離脱が容易にできるものとする。

エ 酸素ボンベ(100型)は、アルミ合金製継ぎ目無し高圧ガス容器2本を積載すること。

(3) メインストレッチャー関係

ア メインストレッチャーは、傷病者室中央付近に設け、確実に固定でき、かつ、容易に解除できる構造の固定装置を設けること。

イ 傷病者の高度救命処置に支障のない空間が、ベッド架台の頭部側及び両側にとれるように、ワンタッチ操作でベッド架台が左右に移動できる構造とすること。

ウ メインストレッチャーには、専用点滴ポールが容易に取り出せる構造又は取り付けることのできる構造とすること。

エ メインストレッチャーのサイドアームにプレートを取り付け、観察及び静脈路確保の処置ができる構造とすること。

オ スクープストレッチャー及びバックボード（ヘッドイモビライザー等付属品含む。）は、傷病者室内の高度救命処置に支障のない位置に確実に固定し、かつ、容易に取り出せる構造とすること。

カ 防振ストレッチャー架台に保育器固定装置（固定ベルト含む。）を取り付けること。

キ 防振ストレッチャー架台のスイングサポート部に落下防止用のガイドを取り付けること。

(4) 傷病者室メインストレッチャー上部の天井に2か所及び側面（計3か所以上）に点滴バッグ吊り下げ装置を設けること。

(5) 傷病者室のメインストレッチャー付近で容易に脱着できる位置に耐荷重構造の輸液ポンプ装着用ポールを取り付けること。

(6) 傷病者室前部に携帯型吸引器とは別に固定式吸引器（汚染対策用交換容器を含む。）を取り付けること。

(7) 汚物入れを、傷病者室の救急業務に支障がない位置に設けること。

(8) 患者監視装置付近に、フックを5個取り付けること。

(9) 右側壁面に、資器材のコード類などの整理等に有効なグリップを設けること。

- (10) 傷病者室前部の固定式吸引器の付近に、吸引カテーテル保持パイプを設けること。
- (11) 傷病者室の横向き座席下収納庫内に、酸素ボンベ1本（20）が積載できる架台を設けること。

7 無線機関係

- (1) 無線機操作部は運転席・助手席のどちらからでも容易に使用できる位置に取り付けること。
- (2) 送受話器は、運転室及び傷病者室に設けること。
- (3) 無線機用外部スピーカーは、運転席（本体兼用）と傷病者室に設け、それぞれ音声ON、OFFのスイッチを設けること。
- (4) ケーブルには、保護チューブを取り付け、点検口を設けること。
- (5) 無線機の取り付け箇所は、体裁よくレイアウトすること（無線機の型式に合致するように収納できるインパネを必要に応じ作製し収納すること。）。
- (6) デジタル（260MHz）・アナログ（150MHz）併用型車載無線機（アンテナを含む。）を取り付けることができるよう、必要な措置を講じておくこと。
- (7) その他取り付け等詳細については、本部と協議すること。

8 AVM機器の移設（載せ換え）

- (1) AVM機器は、運転席・助手席のどちらからでも容易に使用できる位置に取り付けること。
- (2) AVMのアンテナは、必要な場合に限り無線機アンテナと同様に取り付けること。
- (3) その他取り付け等詳細については、本部と協議すること。

9 その他

- (1) 消火器（自動車用ABC粉末6型）は、救急処置の支障とならず容易に使用できる位置に設置すること。
- (2) フロントパネル中央に直径15cmの消防マークを取り付けること。
- (3) 書類入れを助手席付近の適当な位置に取り付け、ゼンリン地図B4版3冊以上を収納できる構造とすること（最新版周南市ゼンリン地図B4版2部を付属すること）。

- (4) 車両左側にステンレス製の旗立てを取り付けること（白地に赤文字で「訓練」と書かれた縦 300 mm、横 450 mm程度の旗（旗棒含む。）を付属すること）。
- (5) 後方の安全確認用にバックアイカメラを取り付け、バックギアと連動して作動すること。
なお、モニターはカラーであること。
- (6) ナビゲーションシステム（最新の全国版ソフト）を取り付けること（モニターはバックアイカメラと同一モニターとすること）。
なお、モニターは、テレビチューナーが内蔵されていないモデルであること。
- (7) 車両側面にレスキュー資器材セット（5点）を収めること。
- (8) 常時・事故時の二系統記録方式のドライブレコーダーを設置すること。
- (9) 運転室にETC車載器を取り付けること。

10 塗装及び記入文字

- (1) 車体の塗装は白色とし、錆落とし、清掃等を完全に行った後、上質塗装で入念に仕上げ、ガラスコーティング処理を施すこと。
- (2) 車体周囲の中央部付近に、再帰性に富んだ反射材を使用した朱色のベルトラインを入れること。
- (3) ドアエッジに反射材を取り付けること（夜間開放時事故防止用）。
- (4) 文字記入については以下のとおりとすること。

ア 記入文字

車両両側面及び後部に「周南市消防本部」と記入すること。

※車両両側面の「周南市消防本部」の文字は、横書きにより左側より記入すること。

車両天井部に、対空標示用「周救3」と記入すること。

車両左右前側ドア、助手席側フロント前面の3か所に「3」と記入すること。

車両側面に「令和7年度石油貯蔵施設立地対策等交付金施設」を200mm×300mmの幅の中に横書き2段にして左側より記入すること。

イ 文字の色

黒色 「周南市消防本部」、「令和7年度石油貯蔵施設立地対策等交付金施設」

朱色 「周救3」、「3」

ウ 字体

丸ゴシック体（約 120 mm角程度）「周南市消防本部」

丸ゴシック体（縦約 700 mm程度）「周救 3」

丸ゴシック体（縦約 200 mm程度）「3」

丸ゴシック体（縦約 40 mm程度）「令和 7 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金
施設」

エ 施工方法

カッティングシート

オ 詳細については、別途指示する。

(5) 銘 板

ア スイッチ類には名称及び「入／切」又「ON／OFF」の表示をすること。

イ 計器類及びパイロットランプには、名称を表示すること。

ウ 各収納庫及び収納棚には、差し替え可能な表示板を設けること。

エ ベッド等操作が必要なものは、その操作方法を表示すること。

11 前記以外については、メーカーが公表した標準装備仕様及びオプションにより有効に製作すること。

12 救急自動車等の処分等

(1) 本車両購入に伴う、救急自動車 1 台の廃棄は受注者が行うこと。また、付属の資器材については無償で引き取ること。

(2) 前記(1)により廃棄する救急自動車については、消防本部名、車両名等の表示及び対空標示を消去するとともに、永久抹消登録を行い、証明書及び車両 5 面の写真を本部に提出すること。

(3) 受注者は重量税の還付手続を行うこと。

車両取付品

No.	品名	数量	備考
1	高輝度LED点滅警光灯又は同等品以上	1式	フロントルーフ、フロントバンパー、リアルーフ
2	作業灯	4個	左右各2個
3	サイレンアンプ	1式	e deck同等品以上（マイク付）
4	消火器	1本	自動車用粉末ABC6型
5	消防章	1枚	150mm
6	フォグランプ	2個	仕様書内参照
7	ハイマウントストップランプ	1個	仕様書内参照
8	泥除け	1式	
9	路肩灯	1式	仕様書内参照
10	ポールスリーブ	1式	固定用ネジ式
11	朱色ベルト及び文字	1式	仕様書内参照
12	バックアラーム（音声合成）	1式	ON/OFFスイッチ付
13	バックアイカメラ	1式	バックギア連動
14	デジタルインナーミラー	1式	走行中の後方確認
15	マップランプ	1個	助手席側
16	リアドアスポットライト	1個	バックドア開閉連動式
17	スポットライト	2個	傷病者室
18	外部電源入力コンセント	1個	バッテリー充電装置付
19	コンセント AC100V	1式	2口コンセント
20	インバーター	1式	傷病者室
21	ETC車載器	1式	運転席（セットアップ済み）
22	アナログ時計	1個	仕様書内参照
23	冷温蔵庫	1器	
24	汚物入れ	1個	仕様書内参照
25	網棚	1式	仕様書内参照
26	患者固定ベルト	1式	
27	傷病者室ガラス処理	1式	仕様書内参照
28	カーテン	1式	傷病者室の窓（後部は電動）
29	地図入れ	1式	最新ゼンリン地図（周南市全域3冊）収納可能
30	収納庫	1式	仕様書内参照

車両取付品

No.	品名	数量	備考
31	銘板	1 式	仕様書内参照
32	ドア開口部カバー（後部ステップ含む）	1 式	スリップ及び傷付け防止
33	反射材（ドアエッジ及び後部ステップ）	1 式	追突防止
34	電流計・電圧計	1 式	仕様書内参照
35	防振ベッド	1 式	スライド操作機能、保育器固定器具付 スイングサポート部に落下防止ガイド取付
36	メインストレッチャー	1 式	エクステンジタイプ（枕、雨覆い、点滴ポール、マット 2 式、滑り止めマット 2 枚付）
37	加湿流量計付酸素吸入器	1 式	O X Y P A C III S
38	酸素ボンベ	2 本	アルミ合金製継ぎ目無し高压ガス容器 9.4L
39	定置型吸引器	1 式	W S - 1400
40	レスキューセット	1 式	仕様書内参照
41	ドライブレコーダー	1 式	常時・事故時に 2 系統記録、30 万画素以上、G P S 機能付き、記録メディア容量 2 G B 以上
42	スタッドレスタイヤ	4 本	ホイール付
43	スペアタイヤ	1 本	ホイール付
44	タイヤチェーン	1 式	スタッドレスタイヤ用（収納ケース含む）
45	停止表示板	1 個	
46	車輪止め	1 式	ゴム製（黄色又はオレンジ色）
47	フロアマット	1 式	運転席、助手席
48	サンバイザー	1 式	大型
49	サイドバイザー	1 式	
50	標準工具	1 式	
51	強力ライト	2 個	L E D L E N S E R 社製 X 21 同等品
52	ホワイトボード	1 式	水性ペン（黒・赤・青色 各 1 本）及び字消し含む

救急資器材

No.	品 名	数量	備 考
1	気道確保用資器材		
	(1) ラリングアルチューブ	各 5 本	3号、4号
	(2) 気管挿管チューブ	各 5 本	7mm、8mm
	(3) 円座	2 個	ゲルタイプ (オレンジ) × 1 防水タイプ (黒) × 1 共に直径21cm
	(4) CO2モニター	1 式	WEC-7301 (エアウェイアダプター 1箱付) 同等品以上
	(5) 喉頭鏡セット	1 式	KaWe製 (ケース入り) LEDタイプ ハンドル (M) +メガライト 5本×1 ハンドル (ショート) +メガライト 3本×1
	(6) ビデオ喉頭鏡	1 式	エアウェイスコープAWS-S200NK同等品以上×2 収納ケース×2 M-ITL-SL AWSイントロック (曇り止め有) 10本 M-ITL-TL 薄型AWSイントロック (曇り止め有) 20本
	(7) プラスチックトレイ	1 式	大・中・小 (清潔エリア確保用)
2	自動体外式除細動器	1 式	TEC-2601又は同等品以上 リチウムイオン充電式電池×2、充電器×1 カードリーダー、入力用ソフト ソフトケース 除細動パット (成人) ×40 記録用SDカード×2 電極リード線 (3電極・6電極) ×各1 レールダルダミー接続ケーブル JJ225V
3	患者監視装置	1 式	ライフスコープVS又は同等品以上 (解析結果オプション付き) バッテリー×2、SPO2ケーブル×2 心電図電極ケーブル各2本 SPO2リニューザブルセンサー×3 オキシセンサー (小児用) ディスポ×4箱 NIBPリニューザブルカフ (成人・小児・乳児・大腿) 各2 カフ接続ホース×2、プリンター記録紙

救急資器材

No.	品 名	数量	備 考
			心電図電極リードセット（3誘導・12誘導）各2 心電図電極（スナップローデ）同等品 50枚入り×30袋 CO ₂ センサー、CO ₂ センサー接続アダプター×2箱
4	輸液用資器材		
	（1）輸液セット	2箱	20個入り
	（2）テガダーム	2箱	100枚入り
	（3）サージカルテープ	各1箱	プラスチック製（12mm、25mm、50mm）
	（4）駆血帯	2個	
5	循環・呼吸管理資器材		
	（1）人工呼吸器（車載用）	1式	アンサー又は同等品以上（蛇腹管掛け含む）
	（2）人工呼吸器（携帯用）	1式	オキシゲンキャリーキットモデル5120（減圧器含む）
	（3）手動式人工蘇生器	1式	アンプ蘇生バッグセット（成人×2 小児×1 新生児×1）
	（4）自動式心肺蘇生器	1式	LUCAS 3 又は同等品 予備バッテリー1個含む標準付属品一式
	（5）酸素マスク	各3箱	成人用（高濃度、中濃度）
	（6）酸素カニューラ	2箱	成人用
	（7）電動吸引器	1式	レールダグ L S U - 4000 又は同等品以上 標準付属品、吸引チューブ、サイドポーチ、バッテリー×2 吸引カテーテルアダプター、ショルダーストラップ ACコード付ウォールブラケット、 サクシオンキャニスタ×2
	（8）エアウェイ	1式	ライフセイバーキット
	（9）吸引カテーテル	各50本	10F r（気管吸引用）、18F r（口腔内吸引用）
	（10）ヤンカーカテーテル	10本	
6	観察用資器材		
	（1）血圧計（固定用）	1器	壁固定アネロイド型（成人、小児及び乳児用カフ 各1）
	（2）血圧計（携帯用）	1器 1器	テルモ社製エレノーマ2同等品以上（デジタル表示） タイコシアネロイド血圧計ハンド型（小児用、成人用（小・中・大）カフ含む）
	（3）パルスオキシメーター	1器	マシモ社製 R a d - 57 同等品以上（ケース付）
	（4）携帯型心電計	1器	ポケットECGモニター（電極アダプターセット付）

救急資器材

No.	品名	数量	備考
	(5) 体温計 (赤外線)	2 個	非接触式赤外線体温計 A Z-T A K-F I 06
	(6) 体温計 (電子)	2 個	腋窩部測定 (低体温測定可能モデル) テルモ社製 C 206 同等品
	(7) 検眼ライト	2 個	瞳孔ゲージ付
	(8) 聴診器	2 個	リットマン社製 (シングルヘッド・ダブルヘッド) 各 1 ネームプレート付き (名入れ対応可)
	(9) 血糖測定器	1 器	メディセーフフィット又は同等品以上 本体一式
7	搬送用資器材		
	(1) スクープストレッチャー	1 式	モデル 65 E X L (ピン付) 同等品以上 (固定ベルト一式及びスクープ用ヘッドイモビライザーセット×2)
	(2) ターボリン担架	2 枚	固定ベルト含む
	(3) エアストレッチャー	1 式	プロマックス同等品以上
8	外傷用資器材		
	(1) バックボード	1 式	ヘッドイモビライザー、頭部バンド、ベルト 5 本
	(2) 頸部固定用副子	1 式	スティフネック (ケース付)
	(3) ネックカラー	5 枚	スティフネックセレクト
	(4) 減圧式固定具	1 式	オックスフォード・バキュームスプリント又は同等品
	(5) 止血帯	5 個	S A M ターニケット又は同等品
	(6) 骨盤固定器具	3 個	サムスリング又は同等品
9	救助用資器材		
	(1) LED フラッシュライト	3 個	LED L E N S E R 社製 T 7 M 又は同等品
	(2) リングカッター	1 個	替刃 (ハイスピード型) 5 枚含む
	(3) レスキューシザー	1 個	
	(4) ケブラー手袋	3 双	トンボ社製 K-551 同等品 L×1 M×2
	(5) スローロープ	1 個	20m (モンベル社コンパクトスローロープ 20 同等品)
10	消毒用資器材		
	(1) 消毒用エタノール	3 缶	消毒用エタノール (5 リットル)
	(2) 次亜塩素酸ナトリウム	3 缶	病院用ハイター 5 k g
	(3) アルコール含有クロス	4 包	ジャンボクリーン 8 0
11	その他の資器材		
	(1) 万能ばさみ	1 個	

救急資器材

No.	品 名	数量	備 考
	(2) 分娩セット	1 式	
	(3) マギール鉗子	2 個	大・中
	(4) 臍帯剪刃	1 式	
	(5) 新生児吸引カテーテル	1 箱	
	(6) 膿盆	2 個	22cm、24cm
	(7) 受水盆	1 個	
	(8) 耐刃防護衣	3 着	前後防護型（ネーム入り、反射材仕様）
	(9) 救急バッグ	2 個 1 個	トーマストランスポートバッグ（S×1 M×1） ベーシックトラウマバッグAK-500
	(10) 感染防護衣（上衣）	60着	青色 S×10 M×20 L×20 LL×10 ネーム入り反射材仕様
	(11) 感染防止手袋	30箱	100枚入り×10箱×3サイズ（S、M、L）
	(12) デジタルカメラ	1 式	OLYMPUS ToughTG-6 同等品（記録媒体、収納ケース付）
	(13) 毛布	5 枚	
	(14) タオルケット	10枚	
	(15) バリケードテープ	1 個	50m以上
	(16) アルコール綿入れ（万能壺）	1 個	ステンレス製（125cc）
	(17) トランシーバー	3 台	特定小電力トランシーバー（防塵・防水機能）20ch
	(18) ゴーグル	6 個	山本光学LF-240G又は同等品
	(19) 活動ベスト（夜間視認用）	3 着	青色 背面ネーム入り 詳細は協議
	(20) クイックプライバシーシート	2 個	青色 ネーム入り 詳細は協議
	(21) サージカルマスク	40箱	50枚入り×40箱
	(22) N-95 マスク	10箱	10枚入り×10箱
	(23) シューズカバー	200枚	
	(24) 救急活動事務資器材	1 式	クリアケース（A4サイズ・記録票保管用）×3 マグネットクリップ（A4サイズ・60枚対応）×5 マグネットフック（耐荷重10kg以上）×5 クリアファイル（A4 30穴 20ページ）×2 ペン立て（四角柱 マグネット付）×2 二つ折りクリップボード（A4サイズ・観察カード用）×2

救急資器材

No.	品 名	数量	備 考
	(25) 踏み台	1台	胸骨圧迫用
	(26) タイマー	1個	タニタTD-384PK (薬剤投与間隔用)
	(27) ペイシェントシールド	1個	モデル101255 ケース付き又は同等品
	(28) 酸素ボンベ	2本	アルミ合金製継ぎ目無し高圧ガス容器 9.4L